

電報

○撰筆の競争 福井一月八日午後特報 各郡議員撰筆の競争益々激烈なり 本日陸軍部は付常備團長佐久間中將は宮城野原練兵場に於て閣下諸隊の觀兵式を行ひたるが朝來の好天氣にて...

時事新報

輸出品の免稅

政府が去る十二月十八日勅令第八十三號を以て明治二十二年一月一日より輸出の藥材其外百十餘種に限り關稅免除の旨を公したる趣意は其頃の時事新報紙上に記載の通り國產の輸出を獎勵するの外ならざる可しと雖も願て將來貿易上の影響如何を考ふるべきは思はざる所と思はざる事ある可しと云ふ可らず蓋し輸入の關稅たる輸出の關稅と共に條約に規定したるものなれば尙も今の條約にして改正なき以上は外人に對して關稅の目を變ずるも能はざるは固より論ず可けれど内國の法律は法律なり外國の條約は條約なり日本政府は勅令第八十三號を發布して法律を改めたりも從來條約の明文を守るのみとして曾て日本の法律に無縁なりし外國商人は今度の法律改正の爲め左右せらるるも且なく舊く依て條約に従ふ可きは固より論を俟たず故に藥材以下の輸出は付し内國商は恰も偶然に條約の束縛を免れて無稅の利を利すると同時に外國商は勅令の澤を浴するを得ずして稅と納るも舊の如くある可ければ今後外商が日本商人の間に伍して商賣の利を爭ふも且甚だ困難ある可し外國の地も居住して其國法の外に悠々たるの便利は常に便利ならん可れども今回の如き場合には商賣上多少不利なきを得ず蓋し人間萬事裏と表と二重の利を專にするは叶はざるものとならんのみ或は外商等は自家の不利を防ぐが爲め内商と共に勅令の特典を蒙らんとて出願するも且もあらんかなれども是れは條約面に對して許す可き限り非ず然らば則ち現行の條約規則は正に文字のまゝに之を守り稅率を高くするものと叶はざるも同時之を低くし又無稅にするも且も相成らずと云はんか、藥材以下は日本國の物産にして之を賣買貿易するに自國の便宜に従て其稅を左右するは我法權内の事あり且海關の稅率に外國政府が容るゝの條約も其精神の在る所を問へば唯その昇降を防ぐのみにして低高を妨るの主意にあらざれば我輸出品に無稅のものを生ずるも外人は更に一言するを得べからず試に彼の米の輸出を見よ條約面又は米麥の輸出を禁ずと大書したるに非ずや然るに今日公然これを輸出して内外に怪しむ者を見ず若し輸出品の品類又其稅率に付一字一句も條約面通りとあらば今の米の輸出は條約違背として許す可らざるものとあらん一奇歟と云ふ可きのみ左れば今度の勅令を以て藥材以下を無稅と定めたる其恩澤を蒙る可き者は日本國法の下に在る日本商人のみにして氣の毒ながら外國商人は之を共するを得ざるものなり事理の最も明瞭なるものにして且つ我外交官に人あり萬々安心なりと思へども利益上の熱心は又自から意外のものにして前條に記したる如く無理ながら外商の苦情なきを憐れ可らずして又我外交官も交情の厚きが爲め可否に躊躇するの意味はあかざる可きやと慮慮の餘り我輩が敢て此理の表門より念の爲めに一言を呈するも可し

電報

○大隈氏、配當 大隈一月八日午後特報 本日午前大隈氏の大隈邸に於て第四團團長の勅令式を執行したり午後高橋團長は將校及び近府縣知事

實地商業夜學校 移轉 始業 時生徒募集

通信講義錄 第三號 既刊

ゴム印刷製造 井二附屬機械賣捌外 弊店開業以來日淺...

○陸軍部 昨八日は陸軍部開始に付府下屯營の近衛及第一師團諸隊は午前七時より正服にて青山練兵場へ參集し夫々位置を整列して隨御を待たりたり聖上には同九時三十分假皇居御出門御陪乘は吉井宮内次官供奉は有栖川三品宮、鍋嶋式部兵官其他宮内書記官侍從侍警等にして當日の兩儀は第一公式の御事なれば守護を加へ殊に昨冬英國より到着したる新製にして駁者の服裝も改正新製なれば申すも畏れど一層美麗に見上げ奉り同十時頃着御在らせ給ひしかば指揮長官三好陸軍中將は參謀長參謀官の諸氏と共に同所の東入り口に奉迎し先着の皇族、大臣、勅任官、陸軍將校等何れも同場内へ迎へ奉り諸隊は捧統の式を行ひ指揮官は刀を以て敬禮し軍樂隊并喇叭卒は若が代の祝歌を奏しぬ夫より玉座を就せ給ひ將校以上へ講を賜ひ暫時御休憩ありて御料の駿馬金華山に騎せ給ひ將校扈從して諸隊整列の右翼前より御一周の上玉座の前へ御馬を駐めさせられて分列行進式を天覽遊ばされ同十一時二十分頃天機最上層はしく還御在らせ給ひたり當日は期らかなる天氣ありしかば拜觀人は周圍に堵を築きたるよし

○文部大臣 森文部大臣には樞密顧問官を轉任し河野敏経氏が樞密院より出で後任を襲ぐ可しと噂せり

○閣院宮 近頃佛政府は一切日本士官を陸軍部内に入るとを禁じたれども獨り閣院宮に對しては特別の取扱を以て何等の制限も爲さず宮には依然兵學校にて練習なし居らるる由あり

○ベルマン氏は歸らず 昨日の本紙に其筋に履かれたる佛國人の歸國すべき趣きを記載したり當時海軍省雇のベルマン氏も亦ボアンナード、アッパールの兩氏と同しく解僱して日本を辭するやと聞及及びしが昨日承合したる處より據れば同氏は今度歸國の一件には關係なきのみならず昨年々内滿期となりしに此先き一年の履修

○新華族の噂 遠からず特旨を以て新華族を列せらるるもの數名ありとは傳て噂する所なるが右は最早其人名、爵位等も粗ぼ内定しある趣にて當時在朝の人々にして尙ほ未だ發露の沙汰に及びざる新華族の功臣は勿論維新の功業に遺勳を垂れし鹿兒嶋藩の老臣故小松帶刀氏の遺子小松清直氏等の如きも其亡父の勳功を追賞して同じく華族を列せらるる筈ありと云へり

○大同團結の大會 來る二月中旬旬々横濱に於て大同團結の大會を開く都合にて最早各地方より右會へ列席の爲め横濱へ來集したるもあり又後藤伯は昨今信州松本地方巡回中あるが來る十五日頃には歸京する筈ありと云ふ

○商法會議所條例 農商務參事官與田義人氏の擔任にて先年五月の頃既に發布せらるる可らんとすの噂ありし同條例は歐米各國の習慣化來りを取り調べ之より斟酌取捨して編纂する見込なりしも各國會議所の習慣などの中には不分明の條條多く昨今二三の慣事へ同ひ合せ中にて此等の遺言を待つて再び編纂に着手すべく尙近々農商務大臣の招集に應じて上京する各地商工實業者にも意見を諮詢する筈なりと云ふ

○市區改正委員會 昨八日より内務省に於て開會しるよし

○諸官省の改革期限 提議削減の爲め諸官省に於て夫々改革を行ふとの噂は昨年の暮より専ら世上に流布するものなるが右は來る三月中旬年度の替りに際して發表するからんと云へり

○内務省土木會議 内務省土木局にては各地土木監督署の技師并計算掛等を召集して昨八日より同局別室に於て經費上の儀に付會議を開きたりと

○武將軍の談話 武將軍は去月四日巴里の某新聞記者に面會し我佛國政府は明年春巴里府に開く萬國博覽會に妨害あらんとを恐れて國會議員の總擧を同年十月に延期するならん可れども假令總擧の期は延びるにせよ我革命黨の代議士は大多數を以て當選するに相違あるべからずと物語りたるよし

○清國理事の後任 昨年十二月十三日朝鮮京城駐在袁世凱氏の命に依り同日出帆の肥後丸に搭じ俄に同氏の許に赴きたる釜山港駐在清國代理理事白曾煥氏の後任は李應福氏之れを當り同月十七日を以て着任したるよし釜山發の近信も見えたり

○シエリマン將軍の肖像 昨年八月死去したる米國のシエリマン將軍は内亂の際北軍の將となりて偉功を奏し内亂を平定したる人あるを以て米國人民は皆將軍の不幸を悲み大統領クレヴァン氏も過日勅書を國會より下して將軍の遺族に給助金を與ふ可き旨を諭したる由なるが此程カムバラン氏の陸軍協會にては將軍の勳功を表彰する爲め首府華盛頓へ將軍の肖像を建設せんとすの議起り直に委員を擇んで其方法を討議し書記コルビン大佐より相當の補助金を下附ありたりと國會より請ふ可しと云ふ

○ハッパード氏 米國公使ハッパード氏は會て本紙に記したる如く本日頃邊境の爲め支那地方より出雲の警ありしが都合より來る二月初旬まで延期したるよしあり

○西村氏 西村氏は年來日本にて一應の事業を成し東洋諸國の史上名を留めたる考へあるよしに付き歸程已むに巴里難事情なき以上は暫く佛國を歸る入とはなる可しと聞く

○故郷の噂 故郷の噂は年來日本にて一應の事業を成し東洋諸國の史上名を留めたる考へあるよしに付き歸程已むに巴里難事情なき以上は暫く佛國を歸る入とはなる可しと聞く

○伊東氏 伊東氏は年來日本にて一應の事業を成し東洋諸國の史上名を留めたる考へあるよしに付き歸程已むに巴里難事情なき以上は暫く佛國を歸る入とはなる可しと聞く

○同廿五日 同廿五日の朝來の好天氣にて...

○西村氏 西村氏は年來日本にて一應の事業を成し東洋諸國の史上名を留めたる考へあるよしに付き歸程已むに巴里難事情なき以上は暫く佛國を歸る入とはなる可しと聞く

○伊東氏 伊東氏は年來日本にて一應の事業を成し東洋諸國の史上名を留めたる考へあるよしに付き歸程已むに巴里難事情なき以上は暫く佛國を歸る入とはなる可しと聞く

○同廿五日 同廿五日の朝來の好天氣にて...

